摘出時 尿の道形成

膀胱・腎細胞がん

病院の実力 ＊和歌山編86

県立医大・泌尿器科学講座教授

原勲医師に聞く

痛みない血尿 迷わず検査

膀胱がんと腎細胞がんの治療について、日本泌尿器科学会の指導医で、県立医大（和歌山市）の泌尿器科学講座教授、原勲医師(53)に聞いた。

膀胱がんは50歳を超えるとかかりやすく、特に男性に多く見られます。膀胱を覆う上皮ががんになり、がん細胞が周囲の筋肉に広がったり、他の臓器に転移したりすることもあります。

初期には自覚症状はほとんどなく、肉眼で見える血尿で気づく場合が多いです。痛みが伴わないことが多く、数日が過ぎて血尿がなくなると、「心配なくなった」と病院に行かない人もいますが、病気が進行している恐れもあります。高齢で痛みのない血尿があれば迷わず検査を受けてください。

尿検査や、尿中に脱落したがん細胞の有無を調べる検査などを行いますが、最終的には「膀胱鏡」という内視鏡を尿道から挿入し、がんの有無を確認します。

膀胱がんがあると判断されれば入院の上、尿道から膀胱鏡を挿入し、電気メスで切除します。切り取ったがん組織を検査し、上皮にとどまっている場合は、完全に切除できたと判断します。ただし、再発の恐れがあるので、外来での定期的なフォローが必要です。

一方、がんが膀胱の筋肉まで達している場合は尿道からの切除だけでは不十分です。他の臓器への転移がなければ、開腹や腹腔鏡で膀胱すべてを取り除く全摘手術を行います。転移があれば、抗がん剤による治療が主になります。

腎細胞がんについても、高齢で発症しやすく、男性の割合が高い傾向があります。初期段階では症状はなく、近年では人間ドックなどで超音波（エコー）検査やコンピューター断層撮影法（CT）で偶然に発見される例が目立ちます。

腎細胞がんでは抗がん剤や放射線は効きにくく、主に手術で腎臓を摘出します。

おおむね早期のがんでは、腹腔鏡を使うことで患者の負担軽減を図れます。がん細胞の直径が4㌢以下で腎臓にとどまっている場合は、腫瘍を含めた腎臓の一部だけを切除する手術を選択することがあります。

当院では内視鏡手術支援ロボットを使った手術も始めています。まだ保険適用でありませんが、より精密な手術が可能になります。

また、がん細胞の形成に関わる分子だけを狙い撃ちする薬も開発されています。副作用が予測しにくい面もありますが、他臓器への転移がある場合には選択肢になります。

膀胱がん、腎細胞がんとも定期検診などで早めに異変に気づくことが大切です。当院では経験豊富な専門医が患者に合わせた最適な治療法を選択し、丁寧に説明するよう心がけています。

膀胱がんと腎細胞がんについて説明する原医師（和歌山市の県立医大で）

今回の病院の実力は、「膀胱がん」と「腎細胞がん」を取り上げる。一覧表では、二つのがんの治療件数の合計数が多い順に掲載した。

膀胱がんの外科的治療としては、「経尿道的切除術」と「全摘手術」がある。

経尿道的切除術は「膀胱鏡」という特殊な内視鏡を尿道から入れ、膀胱を確認しながら電気メスでがんを切除する。一方、がんが進行して経尿道的切除術で取り切れない場合は、膀胱などを摘出する全摘手術が行われる。

膀胱は尿をためる袋の役割をしており、摘出すると尿をためることができなくなる。このため通常は、腸の一部を使うなどし、尿をためる袋や尿の通り道を作る手術も合わせて行われる。

腎臓は、尿を作り出す臓器で左右に一つずつある。腎細胞がんは、水分など必要な成分を再吸収する「尿細管」という組織にできるがんだ。

他の臓器に転移がなければ、一般的には、がんができた腎臓を摘出する「全摘手術」が行われる。腹部を切開する「開腹手術」、小さい穴を開けて腹腔鏡などを使って行う「腹腔鏡手術」、小さく切開し腹腔鏡などの手術器具を差し込む「ミニマム創手術」の三つの方法がある。一覧表には、これらの合計数を掲載した。

がんの広がりが大きくない場合は、腎臓の一部だけを摘出する「部分切除」が行われる。全摘手術と同様、三つの方法の合計数を掲載した。

病院の実力「膀胱・腎細胞がん」

医療機関別2013年治療実績（読売新聞調べ）

医療機関名	膀胱がん全摘手術（件）	膀胱がん経尿道的切除術（件）	腎細胞がん全摘手術（件）	腎細胞がん部分切除（件）
大阪府				
大阪医大	5	421	12	48
関西医大枚方	14	207	34	48
府立急性期・総合医療セ	11	216	26	22
大阪労災	14	202	37	13
大阪市大	18	134	36	42
大阪警察	4	177	22	12
大阪赤十字	10	165	15	18
府立成人病セ	6	114	38	37
関西医大滝井	16	134	40	4
市立豊中	5	161	18	5
奈良県				
天理よろづ相談所	10	133	25	13
県立医大	8	94	26	19
県総合医療セ	5	78	14	13
大和高田市立	2	83	6	3
県西和医療セ	2	73	4	1
近畿大奈良	0	54	10	0
済生会中和	3	48	4	7
市立奈良	3	39	5	4
高井	3	24	7	1
県立五條	0	21	5	0
和歌山県				
日赤和歌山医療セ	27	140	45	6
県立医大	7	112	34	15
和歌山労災	2	54	6	0
国・南和歌山医療セ	0	8	0	0

「国・」は国立病院機構。
「セ」はセンター。

＊全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。